



【お問い合わせ先】

国土交通省中部運輸局企画観光部観光地域振興課
担当: 林(はやし)、神村(かみむら)

TEL: 052-952-8009(直通) FAX: 052-952-8085

「休暇取得の分散化に関する地方ブロック説明会」を開催！ ～「休暇」のあり方について地域の皆様から幅広いご意見等を伺いました～

観光庁 溝畑長官が出席し、下記のとおり説明会を開催しました。

記

1. 開催日時 : 平成22年5月25日(火) 14:30～16:00
2. 開催場所 : 愛知県名古屋市東区上堅杉町1番地
ウィルあいち 4階ウィルホール
3. 議 題 : 休暇取得分散化について
説明者 国土交通省観光庁長官 溝畑 宏
国土交通省観光庁観光経済担当参事官 矢ヶ崎 紀子

説明会には、経済界(経済団体支部等)、教育界(教育委員会、小・中学校長代表等)、労働界(労働組合等)、観光交通関係者(観光団体支部、交通関係団体等)、マスコミ関係者、地方自治体等、全体で207名の幅広い関係者にご参加をいただきました。

説明会で発言された、主な意見等は以下のとおりです。

【教育関係者】

- 子供は休みだが親は会社があると、親と子の分断が懸念される。
- 分散する季節は、このままでいくのか。

【労働組合】

- 運輸、流通、小売関係は休暇分散化の恩恵が受けられない。
- 年休の日数を増やすことも法改正の中で盛り込んで頂きたい。
- 試験的にどこかの地域(モデル地域)で行い、課題等の整理してから全国で広げてみてはどうか。

【運輸業界】

- 高速道路の渋滞が発生するポイントは大体決まっている。休暇の分散がブロックごとだとあまり変わらないのではと思う。
- 市町村ごとに取り組んだほうが良いのではないか。

【自治体関係者】

- ブロック別の案は、今後変更することが出てくるのか。
- 地方自治体がやるべきこと等あればご教示願いたい。
- 亀山市の実証実験はどうであったか。
- ハッピーマンデーが少なくなることで逆に観光が冷え込むのでは。
- 分散化により今まで混んでいて行けなかった有名観光地に集中してしまい、他が不利になるのでは。
- 首都圏からの観光客がかなり占めている地域（伊豆）では分散化しても期待するほど渋滞の緩和にはつながらないのでは。
- 空港等からの二次交通整備の取り組みも合わせてお願いしたい。

観光庁では、皆様からのご意見等を踏まえ、今後実証実験等を通じ休暇取得の分散化に関する検討をさらに進めていくこととしています。

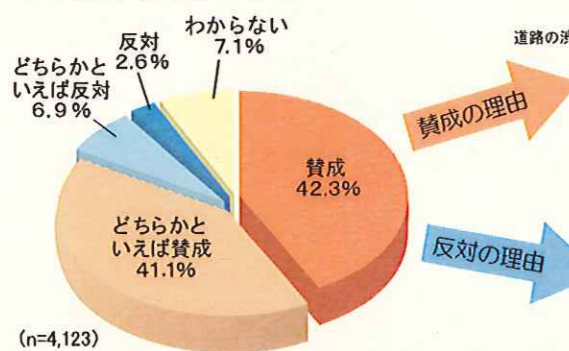
※「休暇取得の分散化」についての詳細は、別添観光庁リーフレット及び以下の観光庁ホームページをご参照下さい。

http://www.mlit.go.jp/kankocho/iinkai/suishinhonbu/kyuka_wt.html

http://www.mlit.go.jp/kankocho/news01_000040.html

夏休みの分散取得について

＜お盆の頃に集中している夏休みを分散して取得することについて＞

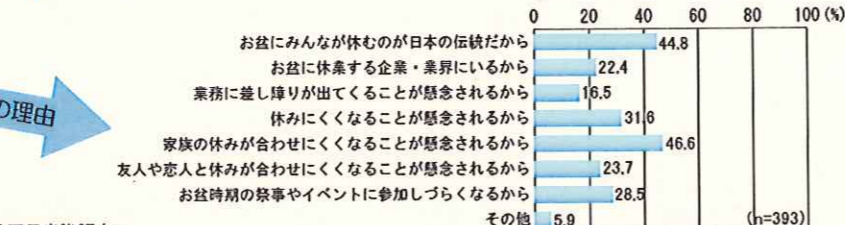
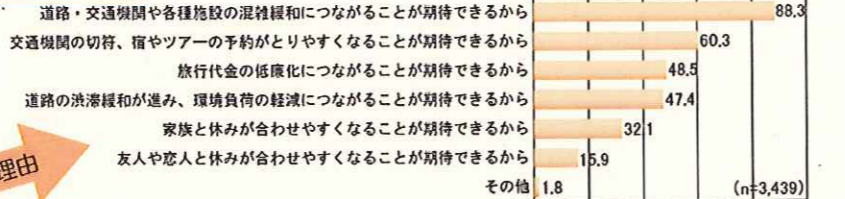


(n=4,123)

データ出所：観光庁「平成21年休暇の取得・分散化に関する国民意識調査」

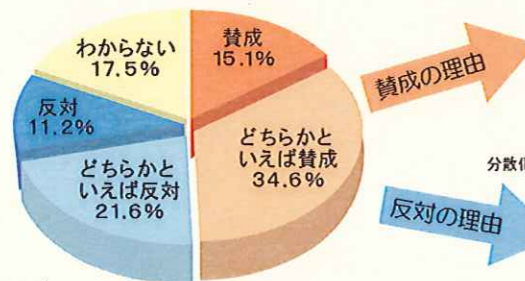
賛成の理由

反対の理由



ゴールデンウィークの分散取得について

＜ゴールデンウィークを地域によってずらすことについて＞

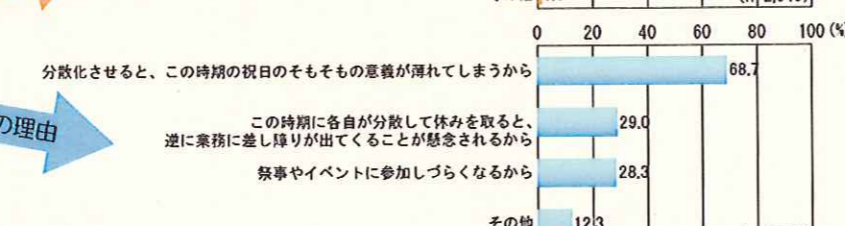
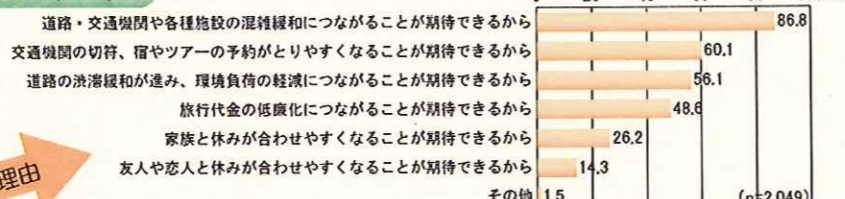


(n=4,123)

データ出所：観光庁「平成21年休暇の取得・分散化に関する国民意識調査」

賛成の理由

反対の理由

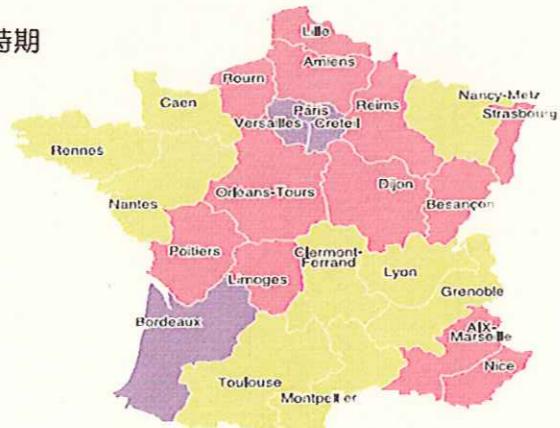


フランスの学校休暇の分散について

有休の取得率がほぼ100%のフランスでは、学校休暇の時期を分散することで観光需要の平準化に役立っています。

ゾーンA		ゾーンC	
ゾーン名	人口(万人)	ゾーン名	人口(万人)
カン	1.46	ボルドー	3.15
クレルモン・フェラン	1.34	クレティユ	
グルノーブル	6.07	パリ	1.160
リヨン		ヴェルサイユ	
モンペリエ	2.56	合計	1.475
ナンシー・メッツ	2.34		
ナント	3.48		
レンヌ	3.12		
トゥールーズ	2.81		
合計	2.318		

参考：合計6,150万人



ゾーンB	
ゾーン名	人口(万人)
エクス・マルセイユ	4.86
ニース	
アミアン	1.90
ブザンソン	1.16
ディジョン	1.63
リール	4.02
リモージュ	0.74
オルレアン・トゥール	2.53
ポワティエ	1.74
ランス	1.34
ルーアン	1.82
ストラスブール	1.83
合計	2.357

		ゾーンA	ゾーンB	ゾーンC
2009～2010年	秋学期開始		2009年9月2日	
	秋休み		2009年10月24日～11月5日	
	クリスマス休み		2009年12月19日～2010年1月4日	
	冬休み	2010年2月13日～3月1日	2010年2月6日～2月22日	2010年2月20日～3月8日
	春休み	2010年4月10日～4月26日	2010年4月3日～4月19日	2010年4月17日～5月3日
	夏休み開始	2010年7月2日		

データ出所：ゾーンの設定〔フランス国民教育省〕
人口(2007年数値)(フランス国立統計経済研究所)

休みの改革宣言。 休暇取得の分散化！

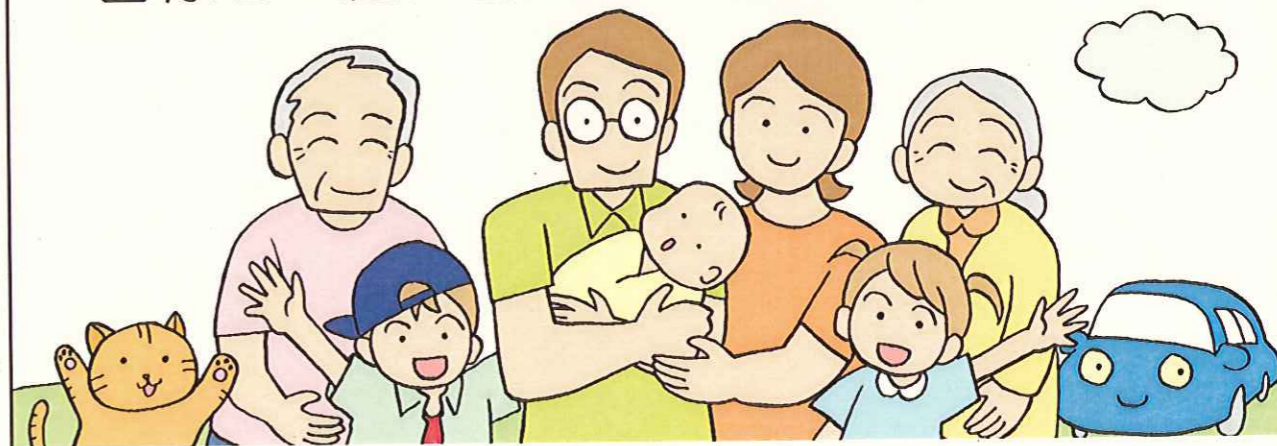
なぜ、休暇取得の分散化なのかな？
料金は高く、どこも混んでいるからな...



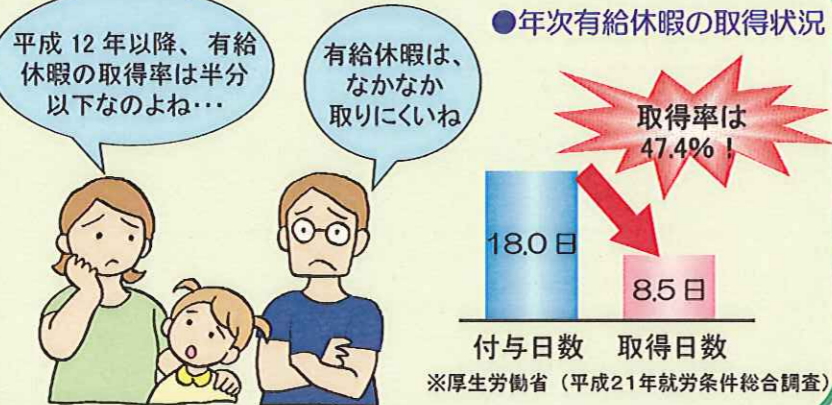
有休の取得はなかなか進まないけど、
休暇の時期が分散すれば、いろいろ良いことありそうね...



皆様の声を聞かせていただき、
皆様と一緒に考えていきましょう！

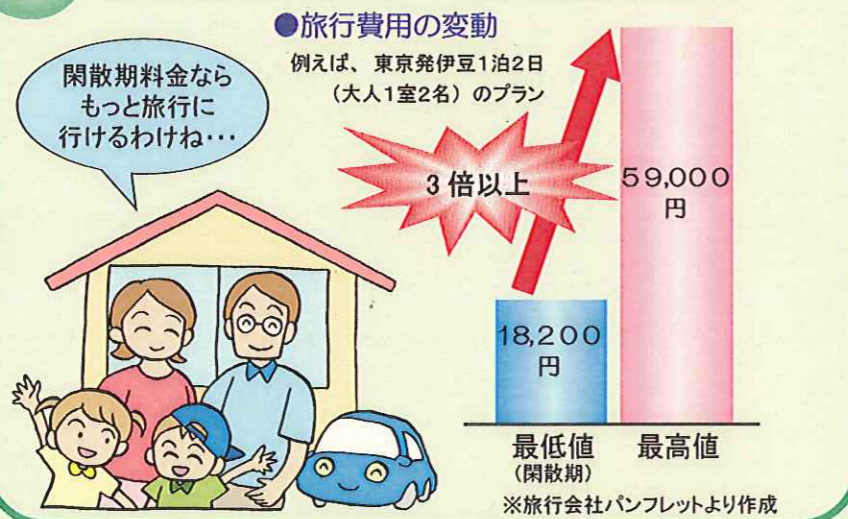


有給休暇の取得率は低い状況にあります！



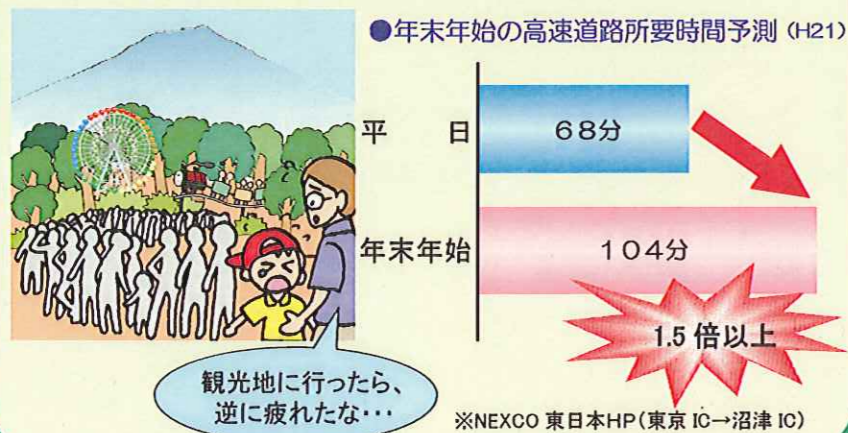
休暇が集中しているため問題があります！

1 利用者が集中し、旅行代金が高いです！



2 移動が集中し、移動時間がかかります！

観光客が集中することで、混雑や渋滞が発生しています！



休暇取得を分散化して、ゆとりある社会を築きましょう！

春 大型連休の分散イメージ

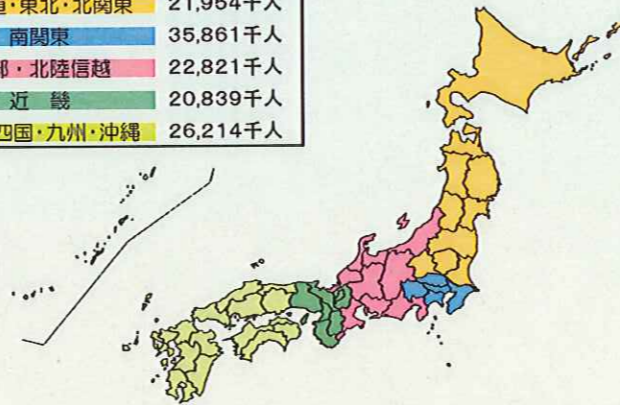
（2010年5～6月の例）

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12

●分散する時期を全体で2.5週とする方策例も検討

みどりの日（5月4日）、こどもの日（5月5日）、成人の日（1月の第2月曜日）を一つのまとまりとして、地域ブロック別に分散（現行の祝日はそれぞれ記念日として残す）

北海道・東北・北関東	21,954千人
南関東	35,861千人
中部・北陸信越	22,821千人
近畿	20,839千人
中国・四国・九州・沖縄	26,214千人



秋 大型連休の創設イメージ

（2010年9～10月の例）

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

●分散する時期を全体で2.5週とする方策例も検討

ハッピーマンデーのうち、「海の日」、「敬老の日」、「体育の日」を従来の日に記念日として戻しつつ、休日については、観光、スポーツ、文化活動等に適した秋の時期に地域ブロック別に分散

休暇取得を分散化すると、様々な効果があります！

- 休暇取得を分散化することによって、生活の豊かさが実感でき、社会が活性化します！
- 休暇取得の分散化は、多くの皆さんにとって、良い効果をもたらします！
- 休暇への意識が高まるきっかけとなり、より休みやすくなることが期待されます！



同じ費用で旅行機会が増加に

ピーク需要の平準化による旅行代金の低廉化



もう1か所観光できる

観光地での混雑の緩和



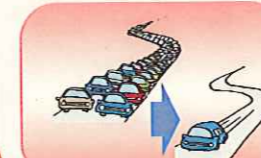
快適なサービス

サービス水準・ホスピタリティの向上



正規雇用の増加

観光地における雇用の安定化
観光産業の採算性・生産性の向上



ムダな投資の回避

環境負荷の軽減、混雑解消による
インフラ投資の効率化

観光振興による地域活性化

- 旅行満足度の向上、リピーターの増加
- 観光地の魅力の向上
- 潜在需要の喚起
（高い料金や混雑を敬遠していた層の掘り起こし）